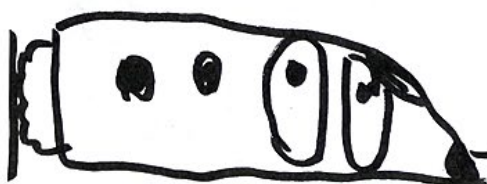
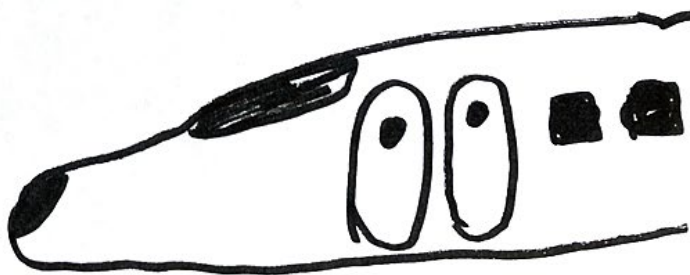
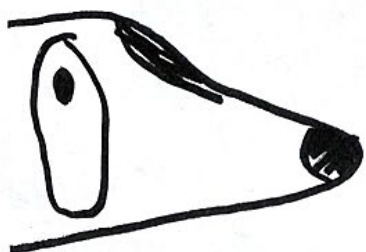
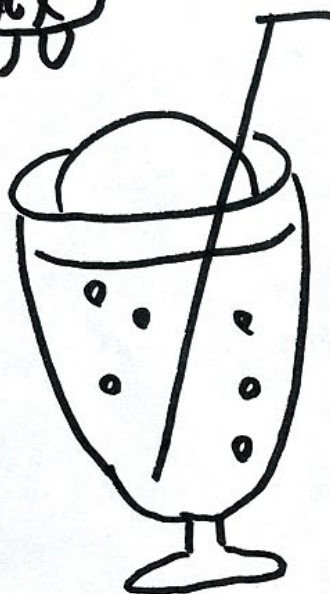


# とよ・たち美肌通信

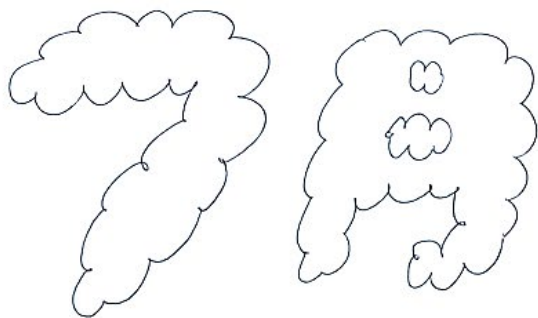


7月号

vol.156



SAYARAO



今日号のとまたち美肌通信の表紙は、

暑に夏にぴったりの おいそうな クリームソーダと かき氷!  
かっこいい 新幹線 でどこに 旅行に 行いうかな ？ ？ ？  
楽しい夏の思い出になる絵です!

今月号は、お姉ちゃんと、弟くんが 2人で 描いてくださ  
りました! ありがとうございます。

プールで泳ぐことや、オリジナルの犬のキャラクターを  
描く事が好きなお姉ちゃんと、

カブトムシやクワガタを採りに新幹線で

おびかけをやる事が好きな

弟くんが 上手に描いてくれました!!

院長はじめ スタッフ一同

バリエ 感謝いたします ♡♡



ヒトの巡り合わせの原点は、両親であろうと思う。どの様な時代に自分という人間がこの世に生を受け、どの両親の子として生まれるか。これが最初の巡り合わせであり、その後の人生の道筋に大いに影響を及ぼすであろう事に疑う余地はない。これは確かに運そのものである。しかしこの事すらも、ある種の宗教に目を転じれば前世とやらが影響すると論じていることもあるが、これを証明した者はまたいない為、ここでは考えないこととする。たとすればどんな両親の子として生を受けるかで、好運と解釈する人もいるであろうが、必ずしもそうでない事は、先達の偉人を見れば既に歴史が証明していよう。

両親の次の巡り合わせといえは「何に(どの種類の)目的や目標を持つか。これがないと必ず道を誤る。運というのは先に述べた巡り合わせのことであり、この捉え所のない運にどう立ちまわらうかに、その後の生き方は関わってくると思う。

20代で芸人、その後俳優やホクサー、画家  
ヨ一がと次々に自身の可能性を追求し続ける  
片岡鶴鳥太郎氏は幼い頃から心の奥に響いて  
くる魂の声を「腹の主」と呼び、道を選ぶ  
時にはいつも「腹の主」が喜ぶ方を選んできた  
と言う。

ではその「腹の主」が自分に何を問いかけてきたの  
だろうかという、片岡氏曰く危機感だったとい  
氏が言う危機感とは「何年か先も今の自分で  
良いのだろうかという疑問と自分との対話であった  
と言っている。自分の魂が何を求めているのかを追  
求し、これだというものを見い出したら、とことん深く掘  
り下げるべきと述べている。

それで思い出した。ニーチェの格言を高山樗牛が訳し  
たとされる言葉である。「己の立てるところを深く  
掘れ、そこには必ず泉あらん」。

院長, 拵